

第一回本宮地区熊野川河川整備景観検討に係る有識者会議

日 時：平成 22 年 9 月 1 日（水）14 時 30 分～17 時

場 所：和歌山県田辺市本宮町本宮 田辺市本宮行政局

出席委員：8 名

事務局：和歌山県県土整備部河川課、和歌山県西牟婁振興局建設部、
田辺市本宮行政局

議 題：本宮地区熊野川河川整備に関する景観検討について

会議開催にあたって

第一回有識者会議の議題に先立ち、有識者会議設立趣旨・規約の承認やスケジュールの確認を行いました。

議 事 概 要

輪中堤と侵食防止工の検討案等について事務局より説明し、出席委員から意見をいただきました。

○ 事務局からは、輪中堤に関し 3 案の説明を行いました。

- 1 案 輪中堤の構造を土堤と L 型擁壁の複合案とし、横断部をスロープとする案。
- 2 案 輪中堤の構造を土堤とし、横断部をスロープとする案。
- 3 案 輪中堤の構造を土堤とし、参道の高さは変えずに横断部に陸こうを設ける案。

また、熊野川・音無川の侵食防止工については、かご型護岸、コンクリート護岸、連結石張護岸の 3 案を説明しました。

主なご意見

○ 輪中堤に関して

1. 参道は、真っ直ぐとし、大鳥居が真っ直ぐ正面に見えるようにしてほしい。（1、2 案）
2. 熊野古道を長く歩いてくると多少のアップダウンでも疲れを感じるので極力アップダウンを少なくすることが望ましい。（1、2 案）
3. 水田の景観が非常にすばらしいのでこれを活かした計画としてほしい。
4. 堤防の管理面積が小さく除草などの維持管理について極力負担が少ない方（1 案）が望ましい。

5. 水路が暗渠になるので、詰まらない対策と水漏れのない様にしてほしい。
6. 文化庁には1案で了承を得ており、一部コンクリートが露出するのはやむなしと認識されている。
7. コンクリート壁は、装飾的な処理を避ける方が望ましい。昭和の懐かしい風景のようなイメージが目立たないことがよい。(1案)
8. 陸こうの運用については、地元の負担を強いることになるため、望ましくない。(3案)
9. 第1案を基本に、本日の意見を反映させて詳細設計を進める。

○侵食防止工に関して

10. 音無川のは多段積かご、熊野川は平張かごで詳細設計を進める。
11. 音無川のささやき橋下流の河床変動・蛇行状況を把握し、対策を施して頂きたい。
12. 熊野川の侵食防止対策は、遺跡(旧護岸)の追加調査などの掘削に際して影響がないか確認したい。(事務局より影響はない旨説明)

○その他

13. 地元自治会に対して事業説明を行ってほしい。
14. 音無川があふれ浸水したことがある。本宮行政局前の護岸が低いように思うので確認をしてほしい。

参考) 輪中堤 (1案)

